

第22回 MQI活動

平成29年度
MQI統一主題

基本の再確認 一次の段階へ



発行(公財)練馬総合病院MQI推進委員会
〒176-8530 練馬区旭丘1-24-1
TEL03-5988-2200(代)

平成29年度 MQI活動 キックオフ 推進委員長 柳川達生

第21回医療の質向上活動(MQI)は平成28年12月3日に開催しました。58名の外部医療機関の方々にもご参加いただき、8チームが年間の改善活動を発表しました。昨年度は、例年より改善活動の内容が充実しました。活動の早い段階から昨年度の統一主題「アサーションー適切な意思疎通・情報伝達」を浸透させたことで比較的円滑に進んだと思います。さて安堵もつかの間、22年目の活動が始まります。今年度の統一主題は、「基本の再確認～次の段階へ～」です。昨年度までの活動を土台として本年度はさらにステップアップさせ病院を発展させていきましょう。

MQIの目的は業務改善、職員の業務遂行能力、管理能力の向上、部署間の調整の推進です。チーム員のみならず職員の皆様の積極的関与を期待します。

平成29年度 MQI推進委員会メンバー紹介

委員長：柳川達生（副院長・内科医師）

副委員長：金内幸子（薬剤科）

事務局：小林裕子（質保証室），北村智弥（庶務課），末貞香織（質保証室）

委員：小谷野圭子（質保証室），中尾和城（臨床検査科）
橋本健太郎（リハビリテーション科），田村美紀（3階病棟）
近藤拓也（医事課），高橋敦子（5階病棟）
喜多哲史（内視鏡センター），松尾道暁（放射線科）

今年度のMQI活動

4/13	4/24	6/3	7月前半	8月後半	11月	12/2
キックオフ	エントリー×切	1日で計画を立てる会	チーム別相談会①	チーム別相談会②	予演会	発表スライド×切
						発表大会
						報文集作成
						継続フォローの会

22年目となるMQI活動がスタートします。

エントリーシートの提出×切は4/24（月）12:00です。

職員はより仕事しやすく、患者さんにはより質の高い医療を提供できるよう、多数のチームの参加をお待ちしています。

平成28年度 MQI 継続フォローの会 2016/2/27, 3/6, 13

テーマ・チーム名/ 主体部署・参加者 (◎リーダー、※推進委員)	現在の状況 及び 今後の活動
<p>術前準備を見直す (これで完璧☆術前準備)</p> <p>看護部 ◎大橋周治 ※田村美紀 高橋敦子 小林裕子</p>	<p>手術麻酔承諾書改訂により、手術名だけでなく、手術の内容が100%記載されている(H28.12-1月継続調査より)外来からの術前チェックリスト運用で術前検査の漏れは減ったものの、術前に転科した患者でまだ漏れることがあり、対策を進める</p> 
<p>がん患者リハビリテーションの体制を構築する (Re-)</p> <p>リハビリテーション科 ◎前田智美 ※橋本健太郎</p>	<p>がんリハ対象者に術後早期より継続して介入が出来る。今後も漏れなく行っていくために、従事する職員を増やしていきたい。また、病棟とのカンファレンスも実施内容を充実させ、患者のよりよいQOL向上に役立てていきたいと思う。</p> 
<p>疑義照会によるイライラを減らす (疑義照会)</p> <p>薬剤科・医局 ◎青柳京子 ※金内幸子</p>	<p>疑義照会は院内規定に基づき返答し、カルテ訂正も迅速に行っている。外来に届けたFAX返却率100%は継続できている。3月医局会で医師不在時対応の取り決めも策定できた。今後も継続して疑義照会内容を検討し院内規定を更新していきたい。</p> 
<p>知りたい検査情報を 確実に把握できる仕組み作り (ステイゴールド)</p> <p>検査科 ◎小口美穂 ※中尾和城</p>	<p>新しく取り決めた、パニック値・連絡異常値報告や、検査科による各病棟の定時採血などの定期便業務について発表大会後も継続して行っている。今後は、検体置き場や定期便の運用について、随時病棟看護師の意見を参考に更新していきたい。</p> 
<p>外来会計における 患者さんの待ち時間短縮 (あずきパー)</p> <p>医事課 ◎小倉正親 ※近藤拓也 小谷野圭子</p>	<p>受付終了後から会計入力補助を継続して行っており待ち時間短縮ができています。また、医事課での処方箋保険情報修正は問題なく継続できている。会計時間が伸びる要因が他にも多々あるので更なる方策を検討していく。</p> 
<p>院内掲示の見直しを通して 適切な情報発信を実現する (見貼番)</p> <p>庶務課 ◎阿部哲晴 ※北村智弥 小谷野圭子</p>	<p>定期的院内巡視は、チェック用紙を作成して実施している。巡視により指摘された問題点に対して随時対応している。6月と11月に広報委員会や患者満足向上委員会からの意見聴取を予定しているので確実に実施していく。</p> 
<p>下部消化管内視鏡検査を円滑に行う (アップル)</p> <p>内視鏡センター ◎福嶋恵子 ※喜多哲史 柳川達生</p>	<p>予約システムを変更した部分に関しては、当然だが効果は継続できている。しかし下剤の追加処方など指示医に依存する部分は、MQI終了後から効果が薄れてきている。歯止めをもう一度見直し、しっかりと標準化していく。</p> 
<p>CT造影検査時副作用歴のあった患者を見逃さない(シェパード)</p> <p>放射線科 ◎澤田恒久 ※松尾道暁</p>	<p>CT検査前チェックリスト・アレルギー登録によりMQI活動以降副作用の見逃しはなく、今のところ上手く機能している。今後もこの活動を継続していき、緊急時のマニュアルの見直し等もして業務全体がさらに円滑に行える様にしていきたい。</p> 